

交野おりひめ大学は  
交野を愛するみんなが集まり、交野を学び、そして  
遊びながら「まち」や「ひと」を元気にしていく、  
新しいカタチの市民大学です。

- 〈学科紹介〉 ●そば学科 ●おさけ学科 ●きかく学科  
●てがみ学科 ●里のしぜん学科  
●みんな de あーと学科 ●おいしいやさい学科
- 〈学科以外の活動〉 ●総合講座 ●酒づくりの会

◇学長 羽石 寛寿 ◇運営コーディネーター 井上 哲也

# 交野おりひめ大学は、現在活動休止中です。

国の緊急事態宣言を受け、交野おりひめ大学は現在、会議やWSなど三密に該当すると思われる活動を休止しております。

例年、4月に実施する開講式も9月に延期予定で、年度当初に交野おりひめ大学通信 開講号を作成しました。(ホームページをご覧ください。 <https://www.orihime-univ.com/>)



## 3月&4月&5月学科活動ダイジェスト

交野おりひめ大学では冒頭述べたように、三密に該当する室内での活動は休止しています。

しかし、そば学科や酒づくりの会の農作業など三密に該当しない屋外での活動は、収穫や時季に応じた作業が必要なことから、参加者の健康状態も確認しながら実施しています。

そば学科では、昨年植えた野菜の収穫時期を迎え、3月15日に東ファーム・鍵野ファームで収穫作業を行いました。そば栽培の裏作で畑のメンテナンス、少数精鋭が短時間で完了。

2月に植えたじゃがいも、その他の野菜は、みんなまで分配し持ち帰り。収穫した野菜は、みんなまで分配し持ち帰り。見てくればよくないですが、味は最高！  
作業で軽く身体を動かさし、みんないストレス解消になったようです。  
緊急事態宣言解除後は、そば学科の開講式を開催し、そば打ち実習やいろんな活動を活性化させたいと思っています。



↑収穫された野菜  
夏を迎える頃には、きれいに片づけて、そばの種蒔の準備を行います。

酒づくりの会でも、今年の日本酒づくりに向け、酒米田のメンテナンスを行いました。

5年目を迎える今年、出来上がった酒「百天満天」の味わいは微妙に異なりますが、自分たちが額に汗して作った酒米で醸したお酒の味は最高です。今年、どんな百天満天になるのかな？

4月19日、今年度初めての作業を開始。畔づくりや草刈り、水の出入り口や水路のメンテナンスをおこないました。草刈機を扱う学生も手慣れたもので、すいすいと草を刈っていきます。

5月3日には、6月の田植えに向け、苗を育てる苗代づくりや根菜の植え付け、田んぼのメンテナンスを実施。  
見納めになる満開のレンゲの中で、お互い距離を取りながら、全員集合で記念撮影を。みんな晴れ晴れとした表情です。  
今年もよい苗を作って、たくさんの酒米を収穫したいと思っています。



↑作業に参加した学生たち



↑苗代、準備出来ました！